

I 自己評価

1 学校教育目標	学校教育全体を通じて、「知・徳・体」の調和のとれた、人間性豊かでたくましく生きることのできる生徒の育成に取り組む。 ア 学習活動を重視し、自己実現に向けた意欲的な態度の育成 イ 規範意識の確立と豊かな心の育成 ウ 自主・自立の精神の育成		
2 スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー (GP) ○広い視野と確かな学力をもち、自ら見出した課題に、粘り強く取り組むことができる生徒 ○自分の良さや可能性を認識し、コミュニケーション能力を発揮して、多様な人々と協働できる生徒 ○心身の健康を常に心掛け、自律的な生活ができる生徒	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー (CP) ○基礎的、基本的な知識、技能を習得させるとともに、地域との連携を大切にして「探究的な学び」を推進 ○すべての教育活動において共感的な人間関係づくりを進めるとともに、「対話を重視した楽しくわかる授業」を推進 ○校内外の活動における主体的な取り組みを支援することで、「自ら考え行動できる力」の育成を推進	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー (AP) ○自己実現に向けて、学習に取り組む、何事にも挑戦したいという熱意のある生徒 ○自他を尊重し、人とのつながりを大切にする生徒 ○地域の一員としての自覚をもち、自主的な活動に積極的に参加したいという意欲のある生徒

3 評価する領域・分野	◇「教育課程・学習指導」		
4 現状の分析	○全ての教科において研究授業と研究会をもつことができ、情報を共有し合うことで授業の質的向上に努めた。 ○年次会や他分掌と情報共有を図り、生徒一人一人に沿った支援に努めた。 ▲自発的な家庭学習の習慣のある生徒が減ってきているのを感じる。		
5 学校の抱える課題	・授業改善、評価方法の確立にむけて、校内外での研修や実践交流を実施する。(ICT機器の活用も含む) ・感染症予防のため実施できなかった縮小した諸行事を再開、開催の仕方を工夫して、保護者との連携を促進する。 ・総合的な探究の時間の充実と指導体制の確立、深化をはかる。		
6 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇学習力の育成 ○授業を大切にします。 ○基礎学力をつけます。 ○学習にむかう姿勢を育みます。		
7 目標の達成に必要な具体的な取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) 一人一人に合う到達目標を定め、目標実現につながる授業を行います。 (2) 協働して学ぶ、考えを深め合える授業を行います。 (3) ICT環境の授業への活用を推進します。 (4) 課題について探究的な見方・考え方を働かせ、下記のテーマで教科横断的・総合的な学習を行うことを通して課題を解決する能力を養います。 1年次生…「学ぶとは？探究の仕方を知る」 2年次生…「課題解決能力を身に付ける」 3年次生…「進路・自己・未来を探究し語る」	(1) 「生徒及び保護者アンケート」の「学習指導」に係る肯定的な評価が、全て80%以上になることを目指します。 (2) 「授業アンケート」を通して、生徒の自己評価と生徒の授業評価を実施し、授業の質的向上を図ります。 (3) 総合的な探究の時間における「生徒への評価アンケート」において、肯定的な評価が80%以上になることを目指します。		
9 取組状況・実践内容等	10 評価視点	11 評価	
・生徒による授業アンケートを年2回実施した。観点別評価の剤り方は、昨年度の議論を踏まえ、本校の方針を作成した。 ・全職員が公開授業を行い、授業力向上を図ることができた。「生徒及び保護者アンケート」では、「学習指導」に係る肯定的な評価は生徒77.2%、保護者56.3%であった。 ・出席停止になった生徒に対して、オンライン学習支援を行った。Microsoft Teamsの活用を開始した。ICT環境の日常的な活用については教科・科目によって温度差があり、次年度への課題である。 ・各年次、年度当初の目標に向かい計画的に学習を進めることができた。 1年次：教材「LOCUS」も用いて課題を見つけ、探究する方法を学んだ。 2年次：地域課題探究としてグループ毎にテーマを設定し「理想の本巣市×松陽生にできること」を追求できた。 3年次：卒業後の進路、さらにその先の自分の姿を想像し、自己探求できた・探究の時間に限らず、各教科との連携を図り横断的な学びが今後の課題である。	①生徒は授業の内容を積極的に理解し、活用しようとしているか。 ②職員が、生徒の主体的な学習態度を育成するという意識のもと、計画的に日々の授業実践に努めているか。 ③ICT環境の授業への日常的な活用ができてきているか。 ④職員が、生徒の探究的な見方・考え方を育成するという意識のもと、計画的に探究活動に取り組んでいるか。	A <input checked="" type="checkbox"/> B C D A <input checked="" type="checkbox"/> B C D A B <input checked="" type="checkbox"/> C D A <input checked="" type="checkbox"/> B C D	
12 成果	○生徒による授業アンケートを2回実施 ○本校の観点別評価の方針作成 ○全職員が公開授業実施 ・ ○生徒及び教員がMicrosoft Teamsの活用開始		総合評価 A <input checked="" type="checkbox"/> B C D

課題	<p>○本巣市制記念事業への参加</p> <p>○フィールドワークの実施（商業施設でのアンケート実施や、施設訪問）</p> <p>○進路実現（学校推薦型選抜）での探究活動の経験アピール</p> <p>▲ICT環境の授業への日常的な活用</p> <p>▲「生徒及び保護者アンケート」の「学習指導」に係る評価が生徒 77.2%、保護者 56.3%であった。特に保護者への周知が必要である。</p> <p>▲各学年だけでなく各教科と連携しての探究の時間</p> <p>▲探究の経験と進路実現のつながりの為の進路指導との連携</p>	
	<p>13 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい授業をデザインするため、校外外での研修や実践交流に努める。（ICT環境の日常的な活用を含む） ・観点別評価の方針の再検討を行う。 ・探究的な学習の時間の充実と指導体制の確立、深化をはかる。 ・学校HPなどを通して、保護者や地域への情報発信に努める。 	

II 学校関係者評価

実施年月日：令和6年1月25日

【意見・要望・評価等】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標の達成は、授業を中心に行われるものである。そのためには、生徒が主体的に取り組む授業を構築し、公開授業を積極的に行うなど授業の充実を目指してほしい。 ・地域課題探究学習を進め、生徒が活発に行動し思考する活動の仕組みを作っていってほしい。
--------------------	---